

岐阜県職員倫理憲章 自動車税事務所実行計画

平成18年7月に発覚した不正資金問題に対する深い反省と再発防止への固い決意とともに、岐阜県職員としての基本理念を示すために平成18年12月28日に制定した「岐阜県職員倫理憲章」の内容を実践していくために、下記のとおり自動車税事務所実行計画を定めます。

令和6年4月1日

1 法令を遵守するとともに、自らを厳しく律します。

- ・ 法令に照らして判断・行動し、疑惑や不信を招くことのないよう努めます。
- ・ 不当な圧力や働きかけに左右されることなく、誰にでも公平、公正に対応します。

【取組事項】

- 地方公務員法・地方税法及び岐阜県コンプライアンスマニュアルが定める守秘義務や、情報公開制度、個人情報保護制度の趣旨等を職員に徹底し、情報の適正な管理、取扱いに努めます。
- 職務上利害関係がある者との会食や遊技、金銭・贈答品の譲受等の行為については、「岐阜県職員倫理規程」にて規制されている旨、職員に徹底するとともに、職務上面談が必要な場合においても、オープンスペースにおいて職員2人以上で対応することを原則とします。
- 過去の不祥事案を題材に、職場研修を実施し、公務、私生活を問わず、「県民の信頼を裏切る行為」に対しては、厳しい処分が科されている現実について、職員の認識を深めます。
- 職務執行に対する不法・不当要求には、職員個人や担当窓口のみの対応に任せず、所属全体で対応するとともに、危機管理部門等関係部署との連携を密にし、協働して対処に当たります。
- 勤務時間内外を通じて、交通ルールの遵守と正しい交通マナーを実践し、車両運転時の無事故・無違反を徹底します。
- 徴税吏員としての職務の特殊性を自覚し、職員各自が自粛自戒し、サービスを厳正に遵守し、県民に信頼される税務行政の確立に努めます。
- 法令に基づき、適正課税を推進するとともに、公平・公正な対応に努めます。

2 税の重みを深く認識し、無駄のない行政を進めます。

- ・ 経費の節減を徹底し、最少の経費で最大の効果を上げるよう努めます。
- ・ 前例にとらわれず、常に業務を点検しながら見直しを図ります。

【取組事項】

- 予算化された事業であっても、「予算の残し方事例集」等を活用するとともに、費用対効果を十分検討し、徹底的な経費の節減に努めます。
- 事務用品の在庫管理の徹底、再利用の促進や、両面・縮小コピーの積極的な活用などにより、事務経費についても一層の節減を図ります。
- 管理職員による組織のマネジメントを強化し、職員に時間管理の重要性を徹底するとともに、職員間における仕事量の均一化や事務の効率化の促進等により、時間外勤務の縮減に努めます。
- 複雑かつ増大する税務事務を効率的に執行するため、適正かつ迅速なデータの入出力と、正確なデータの管理に努め、税務システムによる業務の効率化に努めます。

○自動車税（環境性能割・種別割）の適正な課税及び収納を推進するため、業務の改善や、複数人による書類の内容確認に努めます。

3 県職員としての自覚を高め、質の高い行政サービスを提供します。

- ・ 専門的な能力・知識と、幅広いものの見方・考え方の修得に努めます。
- ・ 法的根拠や仕組みを理解し、迅速・丁寧な業務を進めます。

【取組事項】

- 日頃から、各種研修会への積極的参加や職場研修などを通じて自己研鑽を積み重ね、関係諸法令の理解と税務関係の専門的知識や技能の習得に努めます。
- 職員には、業務に直結する研修はもとより、職員研修所が実施する特別研修等にも参加を促し、豊かな政策構想力と優れた行政運営能力を備えた人材の育成に努めます。
- 納税者に対しては、根拠法令等を明確にし、課税内容等を十分説明するなど、説明責任の向上に努めます。また、税務行政に対する意見や要望、苦情等については、十分にお聴きし、納得のいく説明を行うなど、誠意を持って迅速かつ丁寧な対応に努めます。
- 新聞やインターネットなどから、国の動向や他県の先進事例等について積極的に情報収集を行い、迅速かつ効果的な事業の執行に役立てます。
- 初めての方にもわかりやすい窓口業務に努めるとともに、県民サービス低下にならないような事務処理の効率化を図ります。
- 夏期・冬期の冷暖房は常に適正温度を維持し、窓口環境整備に努めるとともに、節電を図ります。

4 常に危機に備える意識を持ち、事故や不祥事を防止します。

- ・ マニュアルを整備するなど、日頃からのチェック体制を確立します。
- ・ どのような情報にも細心の注意を払い、組織としていち早く対応します。

【取組事項】

- 各種危機管理対応マニュアルを参考にしながら、想定される事案ごとに連絡方法や役割分担を定めるなど、所属内の危機管理体制を整備します。
- 県内外の自治体や民間企業等で発生した危機事例について、その原因、対応策等を分析し、所属内の危機管理体制の見直しや職員の危機管理意識の向上等に役立てます。
- あらゆる情報に常に細心の注意を払い、いち早く不祥事等の危機を察知し、上司への迅速な状況報告と適切な対応により問題発生を未然に防止します。
- 自然災害をはじめとする危機発生時においては、税務システムの ICT-BCP（非常時対応マニュアル）及び「自動車税事務所危機管理マニュアル」などにに基づき、迅速かつ的確な対応に努めます。
- 天候の急変による災害を未然に防止するため、常に情報収集し、万全の備えをするよう努めます。
- 個人情報の保護には万全を期する必要があることから、税関係の個人情報の適正な保管体制を整備するとともに、常に情報の取扱いに細心の注意を払い、関係書類及び電磁的記録媒体等の適正管理を徹底します。
- 個人情報を含む書類の廃棄については、全職員が常に細心の注意を払い、適正な処理を行うことを徹底します。

5 問題発生時には、事実をありのままに公表し、迅速かつ誠実に対応します。

- ・ 正確な情報の把握・公表に努め、責任の所在を明確にした上で問題の拡大を防ぎます。
- ・ 徹底した原因究明を行い、適切な再発防止策を講じます。

【取組事項】

- 問題発生時には、所属長の統一的な指揮のもと、緊急連絡網等の活用により迅速に全職員への情報伝達を完了し、速やかな情報収集・報告・分析と、応急対策（被害の拡大防止、2次災害の防止等）の実施等に当たります。
- 危機管理広報事案については、広報課等と連携を図りながら、「岐阜県危機管理広報マニュアル」に則って、透明・正確・迅速な情報発信に努めます。
- 県民から寄せられた様々な苦情等については、必要に応じて、速やかに所属長へ報告するとともに、県民の視点に立って、迅速かつ適正に対応します。また、問題が発生した原因の究明や、再発防止策の構築に当たっては、多面的・多角的に検討を行う観点から、プロジェクトチームなどを立ち上げて対応します。

6 職員が一丸となって、風通しのよい組織風土をつくります。

- ・ 自分の職責にとらわれず、知恵を出し合い、自由な議論ができる職場をつくります。
- ・ 不都合な情報こそ速やかに包み隠さず明らかにできる組織をつくります。

【取組事項】

- 係長会議や各係内の打合わせ等を定期又は随時に開催し、業務の進捗状況などについて情報共有を行うとともに、職員のワーク・ライフ・バランスの実現に向けて意見交換を行います。
- 管理職員は、定期的な職員面談を実施し、職員の日頃の考えや悩み等の把握に努めるとともに、気軽に議論・意見具申できる雰囲気づくりに努めます。
- 良い情報はもとより、不都合な情報であっても上司への報告を速やかに行います。
- あいさつはコミュニケーションの基本であることから、登庁・退庁時をはじめ、職場におけるあいさつを励行します。

7 県民のひとりとして、積極的に地域や社会に貢献します。

- ・ 地域での活動に積極的に参加します。
- ・ 環境問題などの社会を取り巻く身近な課題に率先して取り組みます。

【取組事項】

- 「清流の国ぎふ憲章」を充分認識し、職員に対して、地域活動等（地元の消防団や自治会、ボランティア活動等）への参加を奨励するとともに、具体的な活動内容について、情報交換します。
- 時間外勤務の縮減や、年次休暇の計画的な取得の促進等により、地域活動等が行いやすい職場環境づくりに努めます。
- 環境にやさしい物品の購入や、買い物時におけるマイバッグの持参等、地域においても、環境保全運動に率先垂範で取り組みます。

8 県民との対話を大切にし、県民とともに「確かな明日の見えるふるさと岐阜県づくり」に取り組めます。

- ・ 県政全般にわたる情報を分かりやすく、積極的に公開します。
- ・ 積極的に現場に出かけ、県民の意見や考えをお聴きし、政策・施策に活かします。

【取組事項】

- 情報発信に当たっては、県のホームページやマスコミなど、多様な広報媒体を効果的に活用した各種情報の公開・提供を行い、自動車税（環境性能割・種別割）に対する理解の促進に努めます。その際には、お役所言葉、専門用語など、形式的で堅苦しい表現を避け、県民目線で、誰にでも分かりやすい、丁寧な表現に心掛けます。
- 県民の皆様からの苦情や相談については、職員が見落とししている視点や、意識のギャップを気付かせてくれる貴重な情報であることから、真摯に耳を傾け、事業の見直しや勤務態度の改善等に役立てます。
- 税務調査や窓口業務、電話応対などを通していただいた県政に対する意見や苦情については、関係機関へ伝達し、政策・施策に活かすよう努めます。